

Slow Talk Live in Slow ☺ Cafe ぶらぼう

太古から現代へつながる、聖なる性のおはなし

トークゲスト / 夏目祭子 (なつめまつりこ)

プロフィール

「援助交際世代の先駆け」と自認し、既製の道徳では説明できない性に対しての疑問や知識を本音で語る。早稲田大学法学部卒業後、コピーライター、雑誌記者を経て1999年現代人の心と体の歪みを癒す自伝的小説『ダイエット破り!』を出版する。以降、ダイエット・依存症・教育・愛と性・精神世界・環境問題などをテーマに評論・エッセイを発表。2002年より「魂に響く性教育」講演活動を開始。現在「アンチダイエット・カウンセリング」を主宰し、食と体と心に悩む女性のサポートに努める。著書に『ダイエット破り!』『ダイエットやめたらヤセちゃったーアンチダイエット・スリミングの魔法』『性に秘められた超スピリチュアルパワー——幾千年のマインドコントロールを超えて』等がある。

誰と結婚するのも本人の自由だよと法律は言い、結婚と関係なく誰とセックスしても責められる時代じゃなくなった。けれどおかしいことに、自由が増えた分だけ「それでも満たされない」虚しさを抱える男女も増える一方に思える。要は、体験の数ばかり増えても、それがフェイクばかりでは意味がないということだろう。

援助交際という言葉がデビューした時、「それがどうしていけないことなのか」をはっきり説明できる言葉を持った大人はまれだった。それもそのはず、性についてきちんと真正面から教わってないのは、今の少年少女や若者に限った話でなく、いいトシの大人もみんなそうなのだから。おそらく子供も、大人も、共に“性教育”が必要なのだ。太古の昔、ひとは今のように性をいやらしいものではなく神様に与えられた聖なる最高の恵みとして性の営みを高らかに謳歌していた。

マヤをはじめとする神話の時代には愛も性も奪うものではなく、与え与えられることで循環をさせていたという。私たちはいつから性をいやらしいもの、恥ずかしいものとしてみるようになってしまったのだろうか。そもそも、AVを中心としたポルノで知る以外に性の営みのことを教えてもらったことがあっただろうか。こういった性の話題をオープンに、まじめに語ってくれる方が少ない中、祭子さんにはマヤの時代に行われていた性教育についても紹介しながら現代版・大人も聞きたい“魂に響く性教育”について語っていただきます。

日時：平成21年1月10日(土)

夏目祭子トークライブ PM3時～PM5時 座談会 PM5時半～PM7時ごろまで

料金：3,000円(本代込み「性に秘められた超スピリチュアルパワー」夏目祭子著)

※本をすでにご購入の方は2,500円 座談会出席の方はプラス1,000円

会場：スローカフェぶらぼう(アクセスは下記参照)

お問い合わせ：スローカフェぶらぼう & Re 空間

Tel 097-594-3239 e-mail info@reku-kan.com

